

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		真壁保健センター管理運営事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	010202000315
							単独/補助	単独		
政策体系	政策体系上の位置付け									
	総合計画の施策名	0102	健康づくりの推進							
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			所属課	040401 健康推進課			
	施策名	02	健康づくりの推進			課長名				
	手段名	02	②母子支援体制の充実			グループ	管理			
						担当者名				
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	04	01	01	04	00	真壁保健センター管理事業			
法令根拠	地域保健法・桜川市保健センターの設置及び管理に関する条例					単年度繰返し (平成20年度～)				
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入				

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要		
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 真壁保健センターは昭和56年に、地域保健法第18条第2項により設置された。市民に対し健康相談、保健指導及び健康診査等、地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設であったが、現在は施設利用はなく、令和7年度の解体を予定している。当事業は、当該施設の維持管理を行うものである。	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・維持管理のための業務委託 ・委託業務等の立ち合い・管理業務

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・維持管理のための業務委託 ・委託業務等の立ち合い・管理業務	業務委託件数	件	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00
	立会い・管理業務回数	回	3.00	3.00	3.00	0.00	0.00
	施設開放日	日	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市民、地権者	桜川市人口	人	36,794.00	36,120.00	35,356.00	34,734.00	34,112.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
適切な維持管理により、解体までの間近隣住民及び地権者に対する安全を担保する。	述べ使用人数	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費	内訳	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
		県支出金	千円	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0			
		使用料・手数料	千円	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0			
		一般財源	千円	919	6,036	101,571			
	事業費計 (A)		千円	919	6,036	101,571			
	正規職員従事人数		人	2.00人	2.00人	3.00人			

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)			
	12 委託料	5,164		12 委託料	2,271		
	13 使用料及び賃借料	872		13 使用料及び賃借料	872		
				14 工事請負費	98,428		
			合計	6,036		合計	101,571

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	維持管理のための業務委託 建物解体工事 建物解体工事監理委託		

事務事業名	真壁保健センター管理運営事業	事務事業No.	10202000315	所属課	健康推進課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 昭和56年に、真壁地区の地域保健活動の拠点施設として当該施設を設置した。当初は管理者が常駐していたが、平成20年7月1日協議の結果、指定管理者制度から現在の直営管理へと移行した。公共施設管理計画において、旧耐震基準以前の建物であり耐震補強が未実施のため、将来の解体が予定されている。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 施設の老朽化による設備の故障などが見受けられる。 令和2年度に実施された公共施設個別施設計画策定に伴う各課打合せにて、利用状況登録状況等の客観的な指標により、令和7年度に解体の方向で進めることになっている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目		
休止	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域保健に必要な事業を行うことで、市民の健康に対する意識の向上に繋がっていたが、現在は利用がなく解体計画の途中である。解体、借地返還までを施設利用の一環と考え、適正な維持管理の実施は政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	解体、借地返還までを施設利用の一環と考え、施設の適正な管理が必要である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	令和7年度の解体を予定しており、それまでの間は維持管理を適正に続けることになるため、向上の余地はないと考える。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響無	住民健診、乳幼児健診、育児相談等を岩瀬福祉センター等の他施設で実施しており、廃止した場合の代替案がある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む) ) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	住民健診、乳幼児健診、育児相談等を岩瀬福祉センター等の他施設で実施するなど、廃止した場合の代替案がある。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	解体までの維持監理のための最低限の経費であり削減はできない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	住民健診、乳幼児健診、育児相談等を岩瀬福祉センター等の他施設で実施済である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 施設の利用がなく、職員が常駐していないため、解体までの施設保全が必要である。また、併せて解体に向けて計画策定や地権者との協議をおこなう必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 解体により廃止 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------